

## オープン市場短信 (2019年12月)

2019.12.9

### ◆ 11月のCP市場動向

11月末のCP市場残高は21兆402億円と、前月比+1兆2,296億円増加した。前年同月比では+1兆2,410億円の増加となった。事業法人は、賞与資金手当や納税等の資金需要から月末近辺に発行が集中した。業態別残高では、その他金融が10兆542億円(前月比+1,769億円)と月末ベースで初めて10兆円超えとなった。一般事業法人は8兆4,641億円(同+1兆565億円)、金融機関は1兆4093億円(同+305億円)と増加した。一方、ABC Pは1兆1,126億円(同△343億円)と減少した。発行レートは、投資家やディーラーの購入ニーズからマイナス~0%近辺の出会い中心であったが、年越えのレア銘柄ではやや深いマイナスでの出会いも散見された。

#### 【新発3M物の発行レート】

最上位銘柄(a-1+格) 0.000%割れ 一般事業法人(a-1格) 0.000%割れ~0.0005% その他金融銘柄(a-1格) 0.000%割れ~0.062%

#### 【業態別残高内訳】

(単位:億円)

業 態	11月末残高	10月末残高	増 減
一般事業法人	84,641	74,076	10,565
その他金融	100,542	98,773	1,769
金融機関	14,093	13,788	305
政府系金融	0	0	0
銀行等	3,000	3,100	-100
証券	11,093	10,688	405
ABC P	11,126	11,469	-343
計	210,402	198,106	12,296

(注:買入消却分含む)

## 【格付け別の発行レート】

格 付	1か月	2か月	3か月
a-1+ (一般事業法人)	△ ～ 0.0000%	△ ～ △	△ ～ △
a-1 (一般事業法人)	△ ～ 0.0520%	△ ～ 0.0005%	△ ～ 0.0005%
a-1+ (リース銘柄)	0.0000% ～ —	— ～ —	△ ～ △
a-1 (リース銘柄)	— ～ —	0.0030% ～ 0.0320%	△ ～ 0.0620%
a-2	0.0020% ～ ケ0.15%	0.0000% ～ ケ0.15%	0.0000% ～ ケ0.15%

### «CPオペ»

CP等買入オペは、19日に予定通り4,000億円オファーされた。月初からの新規発行が少なかったこともあって、ディーラーの売却ニーズは後退し応札倍率が大幅に低下した（10月31日：3.56倍→19日：1.78倍）。按分レートは△0.002%と、前月オペ（17日：△0.001%・31日：△0.001%）から低下した。  
 〈月末オペ残高：2兆1,689億円〉

### 【日銀CP等買入れオペ実績】

(単位：億円)

実施日	実行日	オファー金額	応札額	落札額	按分・全取	平均落札	按分比率
11月19日	11月22日	4,000	7,135	3,990	-0.002%	0.001%	56.6%

### «ABC P»

ABC Pは、1兆1,126億円と前月比△343億円減少し、前年同月比も△499億円の減少であった。

### «短期社債登録状況»

証券保管振替機構によると、11月末時点における発行登録企業数は、森トラスト・ホールディングスが新規登録を行い529社となった。

### «CP現先市場»

現先(S/N)レートは運用ニーズ強く、マイナス～0%近辺での出会いで0%では引き続き買い残り状態となっていた。

## ◆ 12月のCP市場動向

12月の発行市場は、11月と同様賞与資金手当てや納税対応により、ショート物中心に発行増が予想される。四半期末での有利子負債の圧縮ニーズが見込まれるものの、月末残高は前年同月（18兆8,048億円）を上回り、20兆円前後と34ヶ月連続の増加を予想する。発行レートは、ショートターム物が0%～浅いプラス、年越し物は浅いマイナス～0%近辺を予想する。

### «CPオペ»

今月のCP等買入オペは、各回3,000億円程度のオファーで合計9,000億円が予定されている。3日に実施されたオペの按分レートは $\Delta 0.001\%$ と、前回オペ（11月19日）より $+0.001\%$ 上昇した。これは、11月末近辺に発行されたオペ対象銘柄の多さが影響したためと思われる。次回以降のオペについては、発行残高は多いものの、年越え物の発行レートが0%近辺と低位安定している事から横ばいから低下を探る展開を予想する。

### «CP現先市場»

CP現先レートは、投資家の運用ニーズが強く、引き続き0%近辺での出合いを予想する。

## \* 参考資料（出所：証券保管振替機構）

### 【11月末発行残高 上位10社】

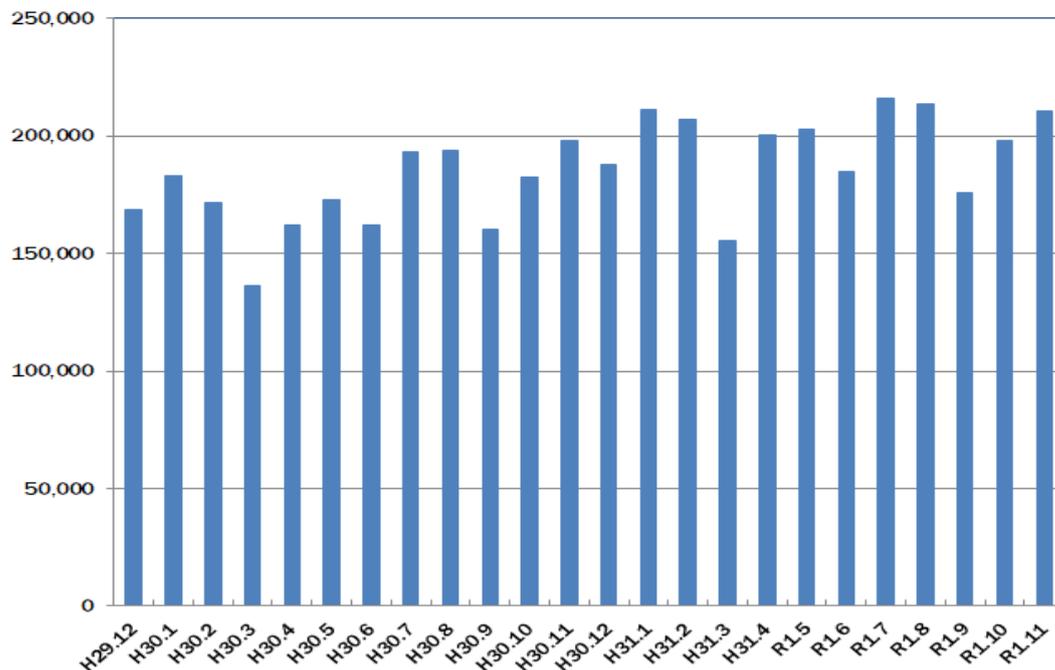
（単位：億円）

	発行企業名	11月末残高	10月末残高
1	NTTファイナンス株式会社	10,620	8,770
2	三菱商事	10,369	11,129
3	三井住友ファイナンス&リース株式会社	9,419	9,479
4	三菱UFJリース株式会社	6,871	7,383
5	東京センチュリー株式会社	6,850	6,860
6	株式会社クレディセゾン	5,820	5,970
7	みずほリース株式会社	5,500	5,500
8	三菱重工業	4,900	4,900
9	コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション	4,542	4,675
10	ジャックス	4,455	4,445

## 【短期社債市場残高】

(2017年12月～2019年11月)

(単位：億円)



本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社

登録金融機関 近畿財務局長（登金）第 243 号

大阪本社 〒 541-0043 大阪市中央区高麗橋 2 丁目 4 番 2 号

東京本社 〒 103-0022 東京都中央区日本橋室町 1 丁目 2 番 3 号

加入協会 日本証券業協会